

項目	表示形式	対象年度	具体内容
自治体排出量カルテ① CO ₂ 排出量の現状把握			
○地方公共団体の部門・分野別CO ₂ 排出量（標準的手法）			
1) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 平成17年度（2005年度）	円グラフ	2005年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
2) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 平成25年度（2013年度）	円グラフ	2013年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
3) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比 令和4年度（2022年度）	円グラフ	2022年度	・標準的手法に基づくCO ₂ 排出量推計データの部門・分野別排出量を集計
4) 部門・分野別CO ₂ 排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2009～2022年度	・2009年度以降の部門・分野別CO ₂ 排出量の推移
5) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）	100%横上げ横棒グラフ	2022年度	・地方公共団体と該当都道府県平均、全国平均の部門・分野別のCO ₂ 排出量構成比の比較

自治体排出量カルテ② 活動量の現状把握			
○地方公共団体の活動量			
1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO ₂ 排出量の推移）	折れ線グラフ・縦棒グラフ	2009～2022年度	・標準的手法の部門・分野別の活動量の推移

自治体排出量カルテ③ 特定事業所の温室効果ガス排出量の現状把握			
1 地方公共団体の特定事業所排出量			
1) 特定事業所の部門別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所の部門別排出量構成比
2) 特定事業所の部門別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所の部門別排出量の推移
3) 特定事業所のガス種別排出量（令和3年度）	円グラフ	2021年度	・特定事業所のガス種別排出量構成比
4) 特定事業所のガス種別排出量の推移	横上げ縦棒グラフ	2011～2021年度	・2011年度以降の特定事業所のガス種別排出量の推移
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所の業種別事業所数及び排出量
2 地方公共団体の区域のCO ₂ 排出量との比較			
6) 区域のCO ₂ 排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2011～2021年度	・区域の産業部門・業務その他部門の排出量の推移と特定事業所排出量が占める割合（カバー率）の推移
3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較			
7) 1事業所当たりの排出傾向（全国平均値との比較）（令和3年度）	横棒グラフ	2021年度	・特定事業所1事業所当たりの排出量の全国平均との比較

自治体排出量カルテ④ 地方公共団体の再生可能エネルギー導入状況及び導入ポテンシャルの現状把握			
1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）			
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（導入設備容量）
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）	円グラフ	2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別の導入状況（発電電力量）
3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）	横上げ縦棒・折れ線グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の再生可能エネルギーの設備別導入設備容量の推移と区域の電気使用量に対するFIT・FIP太陽光導入比の推移
4) 区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数の推移（累積）	縦棒グラフ	2015～2023年度	・FIT・FIP公表情報の太陽光（10kW未満）の導入件数の推移
2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル			
5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）	円グラフ	2024年11月末時点	・REPOSの再エネ導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）
3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）			
7) 区域内のエネルギー消費量に対する再エネ導入ポテンシャル（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・区域の電気使用量に対する再エネ導入量、再エネ導入ポテンシャルの比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
8) 区域内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量（電気）	縦棒グラフ	2023年度	・再エネ種別の再エネ導入ポテンシャルに対する再エネ導入量の比較

※人口が同程度の他の地方公共団体との排出量の比較シート、他の地方公共団体との再エネ導入量や再エネポテンシャルの比較シート、特定事業所集計表シートも付録しています。

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（部門・分野別排出量）			
1 部門・分野別排出量の比較（標準的手法）（令和3年度（2021年度））			
1) 部門・分野別CO ₂ 排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO ₂ 排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 部門・分野別CO ₂ 排出量構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の部門・分野別CO ₂ 排出量構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））			
3) 産業部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の産業部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
4) 業務その他部門	横棒グラフ	2021年度	・標準的手法に基づく区域の業務その他部門排出量に対し特定事業所排出量が占める割合（カバー率）を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3 特定事業所排出量の比較（令和3年度（2021年度））			
5) 特定事業所排出量の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
6) 特定事業所数の比較	横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所数を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
7) 特定事業所排出量の部門別構成比の比較	100%横上げ横棒グラフ	2021年度	・特定事業所排出量の部門別構成比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較

自治体排出量カルテ 他の地方公共団体との比較（再エネ導入量・再エネポテンシャル）			
1 再エネ導入量の比較（令和5年度（2023年度））			
1) 他の地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別導入設備容量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・再エネ別発電電力量を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較
3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較	横上げ横棒グラフ	2023年度	・対電気使用量FIT・FIP導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較	横棒グラフ	2023年度	・対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比を人口が同程度の28市区町村（都道府県の場合は47都道府県）と比較 ※世帯数は2022年度で代用
2 再エネ導入ポテンシャルの比較			
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較	横上げ横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）を同一都道府県内で比較
6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の電気使用量を同一都道府県内で比較（※2022年度で代用）
7) 同一都道府県内の他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較	横棒グラフ	2024年11月末時点	・他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量を同一都道府県内で比較 ※区域の電気使用量は2022年度で代用

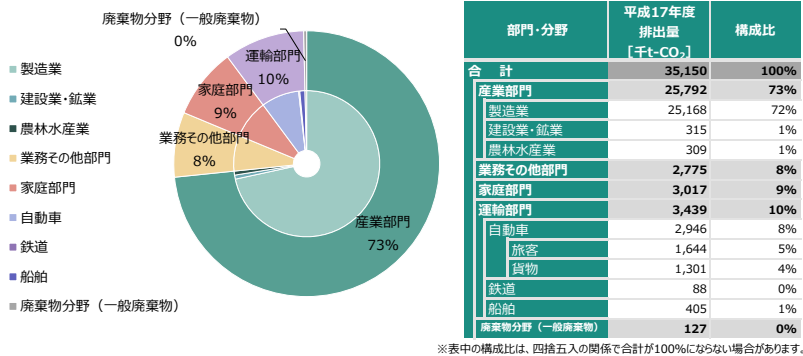
特定事業所集計表シート			
特定事業所集計表			
特定事業所集計表	表	2011～2021年度	・特定事業所の事業所数と排出量の集計表（日本標準産業分類別）

自治体排出量カルテ① CO₂排出量の現状把握

山口県

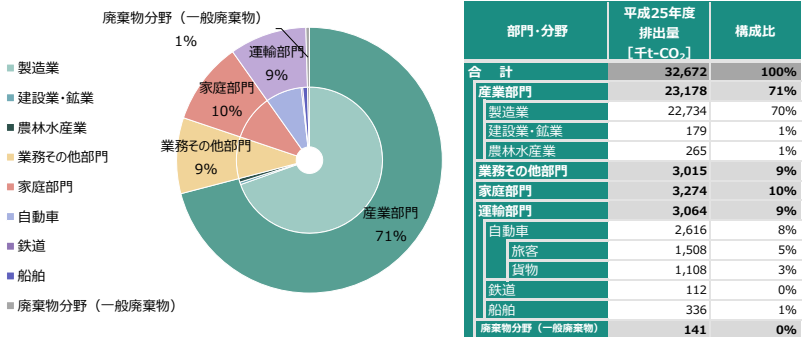
○地方公共団体の部門・分野別CO₂排出量（標準的手法）

1) 部門・分野別CO₂排出量構成比 平成17年度（2005年度）



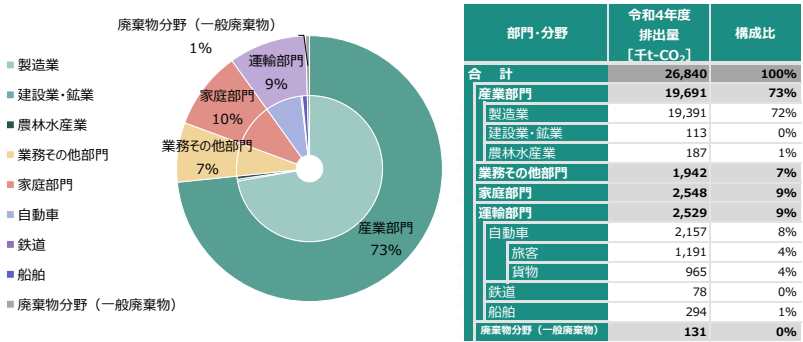
※表中の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

2) 部門・分野別CO₂排出量構成比 平成25年度（2013年度）



※表中の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

3) 部門・分野別CO₂排出量構成比 令和4年度（2022年度）



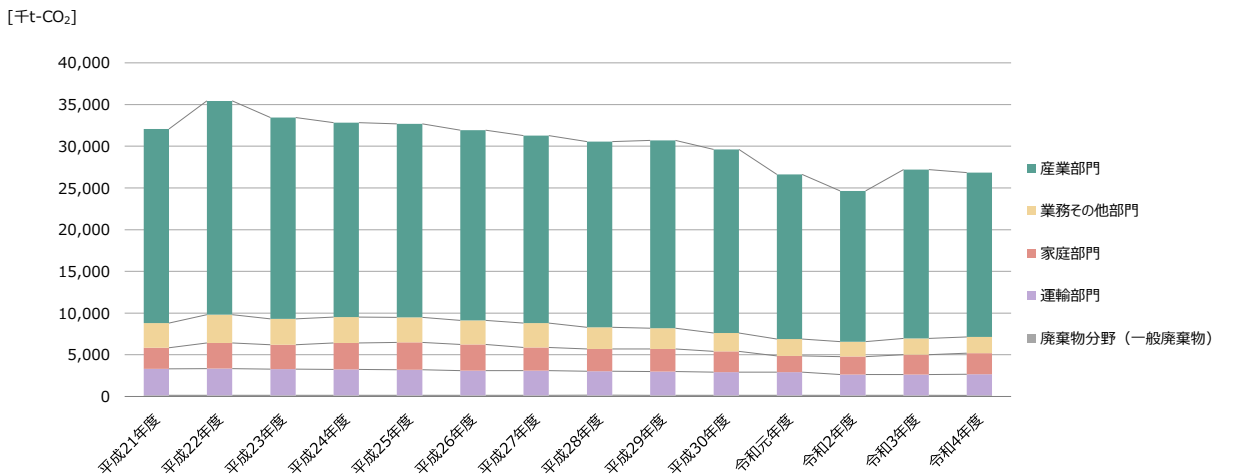
※表中の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

区域のCO₂排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法に基づき、統計資料の按分により地方公共団体別部門・分野別CO₂排出量を推計した値です。なお、一般廃棄物のCO₂排出量は、一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しています。

各地方公共団体の過年度のデータは、地方公共団体実行計画策定・実施支援サイト「部門別CO₂排出量の現状推計（部門別データ）」（https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/suikai2.html）を御参照ください。

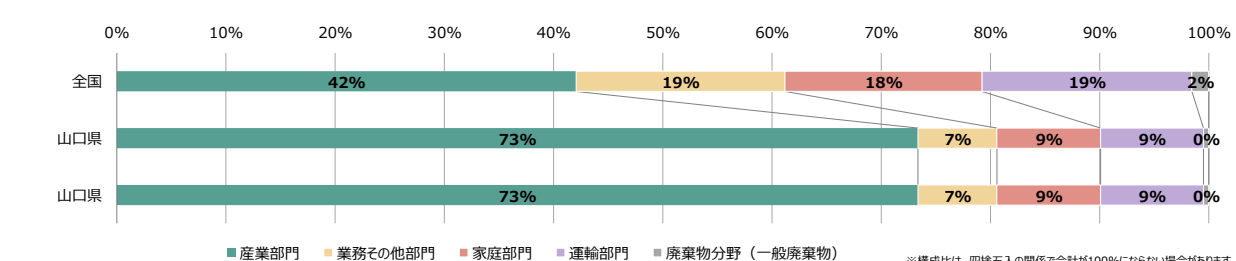
本カルテに掲載している推計年度は、地方公共団体実行計画（区域施策編）で地域の温室効果ガス排出量の目標を策定する際に、基準年度や現状年度として選択できます。令和4年度（2022年度）は最新の現状推計年度です。各部門・分野別CO₂排出量構成比を分析することで施策の検討に役立てることができます。

4) 部門・分野別CO₂排出量の推移



※表中の内訳と小計・合計は、四捨五入の関係で一致しない場合があります。

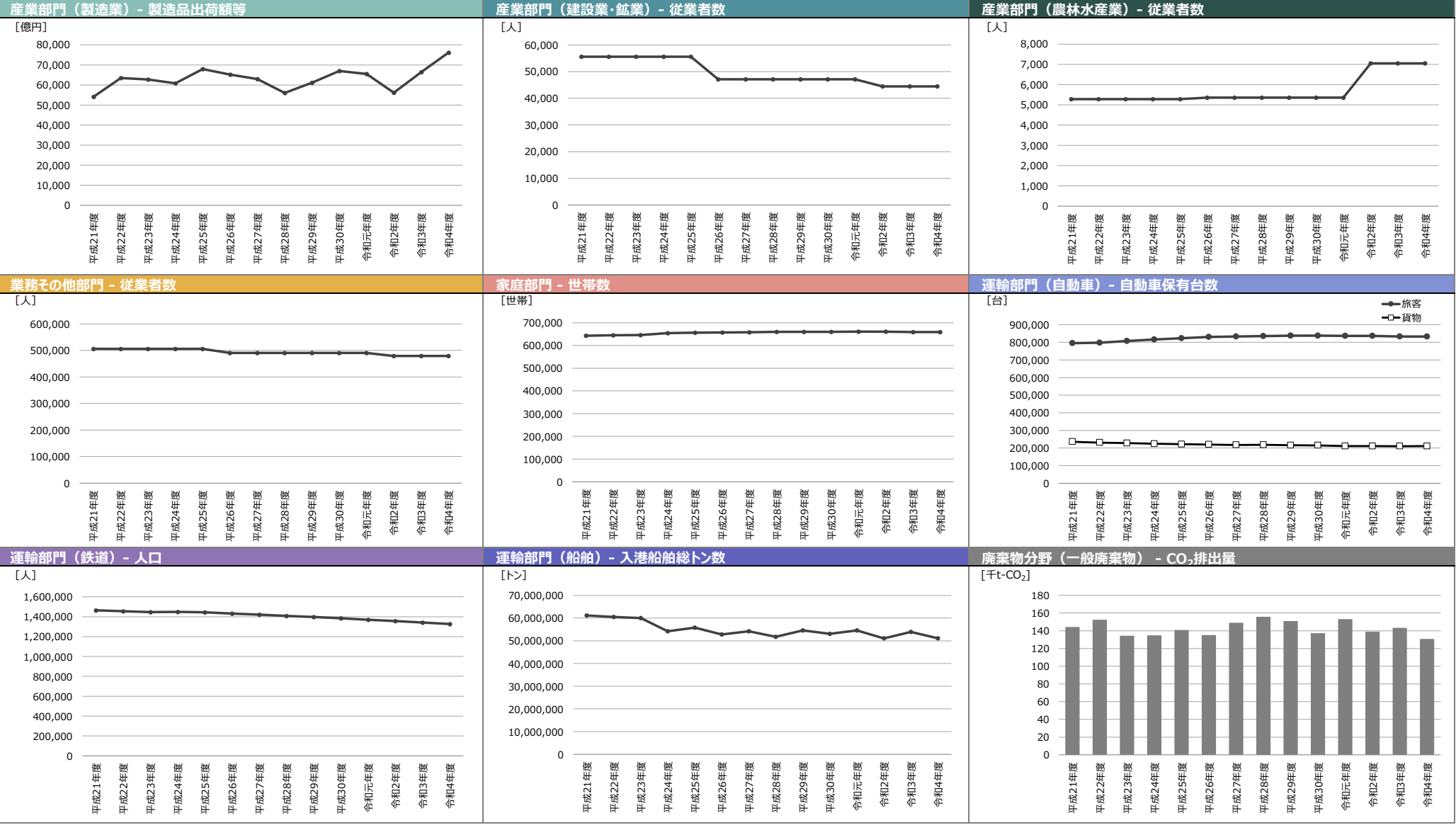
5) 部門・分野別CO₂排出量構成比の比較（都道府県平均及び全国平均）



※構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

○地方公共団体の活動量

1) 部門・分野別指標の推移（廃棄物分野のみCO₂排出量の推移）



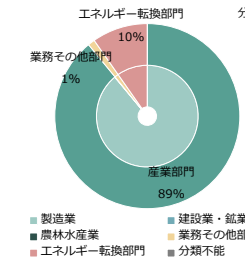
部門・分野別活動量の推移で示す各指標は、部門・分野別CO₂排出量の推計に用いた按分指標です。それぞれの指標の経年変化を分析することで、CO₂排出量の要因となる活動量がどのように増減しているかを把握することができます。

各指標の引用元は次のとおりです。製造品出荷額等（製造業）：令和元年度までは工業統計調査・令和2年度は経済センサス（活動調査）・令和3年度以降は経済構造実態調査、 従業者数（建設業・鉱業、農林水産業、業務その他部門）：令和元年度までは経済センサス（基礎調査）・令和2年度以降は経済センサス（活動調査）、 世帯数（家庭部門）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、 自動車保有台数（運輸部門）：一般財団法人自動車検査登録情報協会「市区町村別自動車保有車両数」及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会「市区町村別軽自動車車両数」、 人口（鉄道）：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、 入港船舶総トン数（船舶）：港湾統計年報

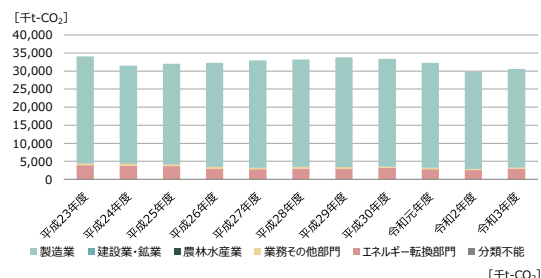
なお、従業者数は経済センサス（基礎調査）を使用し、「平成20年度」、「平成21年度～平成25年度」、「平成26年度～令和元年度」をそれぞれ同じ統計から集計（廃棄物分野は按分ではない場合もあります）していましたが、令和3年経済センサスからは活動調査で把握されることとなり、令和2年度以降の従業者数は経済センサス（活動調査）から集計しています。廃棄物分野は按分ではなく一般廃棄物処理実態調査結果の焼却施設ごとの年間処理量等から推計しているため、推計したCO₂排出量の推移を掲載しています。

1 地方公共団体の特定事業所排出量

1) 特定事業所の部門別排出量 (令和3年度)



2) 特定事業所の部門別排出量の推移

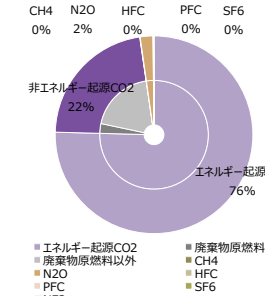


部門	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	34,036	31,510	32,029	32,311	32,941	33,223	33,817	33,362	32,303	29,850	30,562
産業部門	29,598	27,229	27,825	28,841	29,755	29,821	30,448	29,873	29,124	26,964	27,216
製造業	29,557	27,189	27,782	28,798	29,713	29,779	30,407	29,831	29,085	26,926	27,180
建設業・鉱業	41	40	44	43	42	42	41	41	40	38	36
農林水産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
業務その他部門	518	520	522	553	363	421	408	387	383	335	371
エネルギー転換部門	3,920	3,761	3,682	2,917	2,824	2,982	2,961	3,103	2,796	2,550	2,975
分類不能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

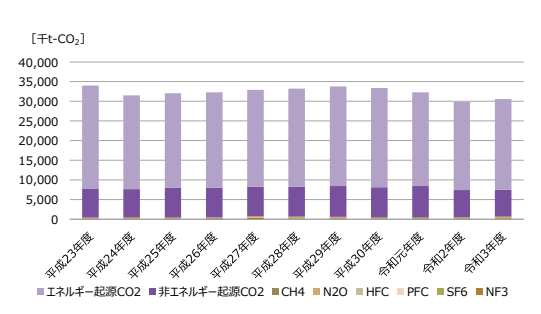
本カルテの「特定事業所」は、多量に温室効果ガスを排出しており、「地球温暖化対策の推進に関する法律」において自らの温室効果ガスの排出量を算定し、国に報告することが義務付けられている事業所を指します。本カルテの特定事業所の部門と日本標準産業分類との対応は以下のとおりです。

- 製造業：E製造業（エネルギー転換部門の細分類除く）
- 建設業・鉱業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業
- 農林水産業：A農業、林業、B漁業
- 業務その他部門：F電気・ガス・熱供給・水道業～S公務（エネルギー転換部門の細分類除く）
- エネルギー転換部門：日本標準産業分類の細分類（E製造業の1711：石油精製業、1731：コークス製造業、F電気・ガス・熱供給・水道業の3311：発電所、3312：変電所、3411：ガス製造工場、3511：熱供給業）

3) 特定事業所別のガス種別排出量 (令和3年度)



4) 特定事業所のガス種別排出量の推移



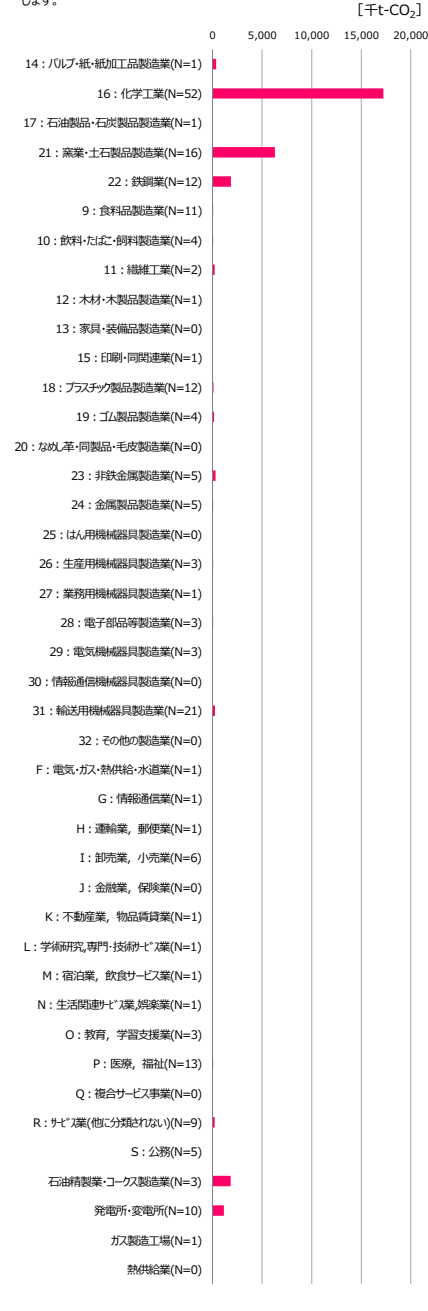
温室効果ガス種	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
合計	34,036	31,510	32,029	32,311	32,941	33,223	33,817	33,362	32,303	29,850	30,562
エネルギー起源CO ₂	26,256	23,853	23,977	24,284	24,695	24,955	25,390	25,234	23,888	22,452	23,049
非エネルギー起源CO ₂	7,335	7,208	7,619	7,607	7,497	7,586	7,817	7,669	7,956	6,976	6,804
産業物原燃料	588	400	612	630	638	697	693	779	812	790	886
産業物原燃料以外	6,748	6,809	7,007	6,977	6,859	6,889	7,124	6,890	7,145	6,186	5,919
CH ₄	11	10	8	12	13	13	12	13	11	14	21
N ₂ O	391	403	400	389	397	410	392	386	411	381	635
HFC	11	8	4	5	5	6	0	9	17	4	21
PFC	24	18	13	11	7	6	6	0	0	5	5
SF ₆	7	9	8	4	0	3	4	5	5	3	4
NF ₃	0	0	0	0	327	243	197	45	16	13	22

エネルギー起源CO₂以外のガス種の排出源となっている活動を以下に例示します。あくまで、例示のため、詳細は「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」を御確認ください。（https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc/）

- 非エネルギー起源CO₂
- 産業物原燃料：産業物の焼却のうち産業物が燃料に変わって焼却の用に供される場合(A)及び製品の製造の用途への使用、産業物燃料等の使用
- 産業物原燃料以外：産業物の焼却のうち上記(A)を除く場合、原油又は天然ガスの生産、セメントの製造、生石灰の製造、等
- CH₄：燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用、都市ガスの製造、耕作、廃棄物の埋立処分、工場廃水の処理、等
- N₂O：燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用、麻酔剤の使用、家畜の排泄物の管理、耕地における肥料の使用、等
- HFC：業務用冷凍空調機器の使用開始におけるHFCの封入、業務用冷凍空調機器の整備におけるHFCの回収及び封入、等
- PFC：アルミニウムの製造、パルチオロポン（PFC）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFCの使用、等
- SF₆：マグネシウム合金の鋳造、六ふっ化硫黄（SF₆）の製造、変圧器等電気機械器具の製造及び使用の開始におけるSF₆の封入、等
- NF₃：三ふっ化窒素（NF₃）の製造、半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるNF₃の使用

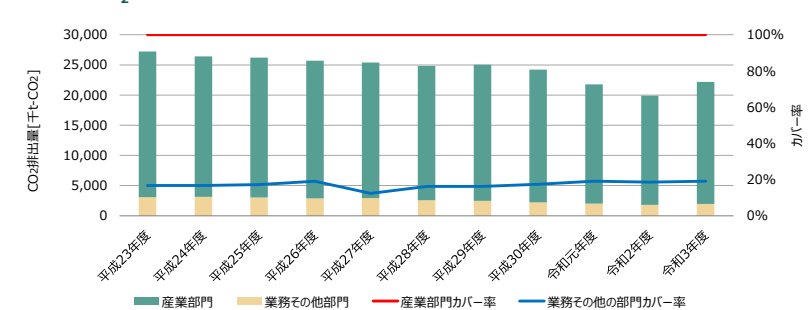
5) 業種別の特定事業所の事業所数及び排出量 (令和3年度)

※排出量は全ての温室効果ガス種を含む合計値です。Nは特定事業所数を示します。



2 地方公共団体の区域のCO₂排出量との比較

6) 区域のCO₂排出量の推移及び特定事業所排出量のカバー率の推移

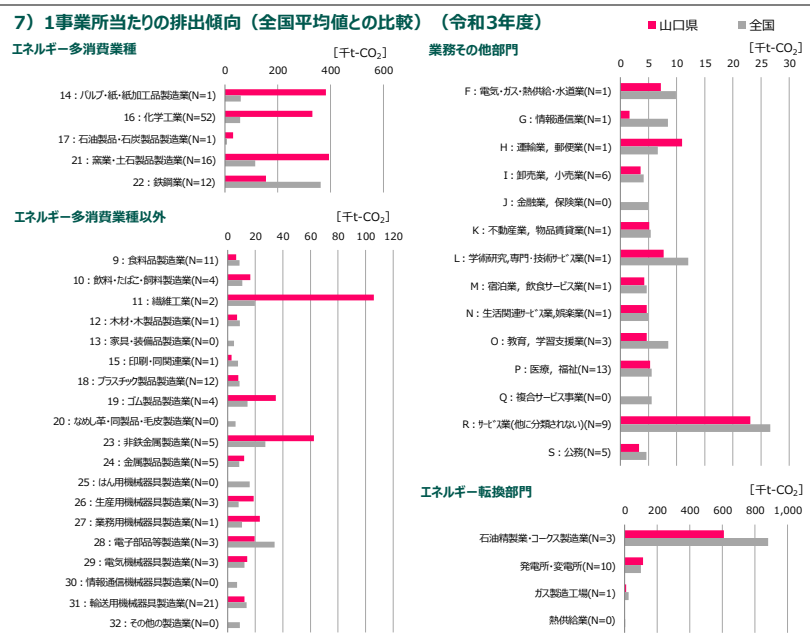


区域のエネルギー起源CO ₂ 排出量	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
部門											
産業・業務部門の合計	27,237	26,425	26,193	25,707	25,397	24,848	25,018	24,228	21,751	19,874	22,191
産業部門	24,137	23,307	23,178	22,809	22,469	22,270	22,515	22,004	19,745	18,075	20,245
製造業	23,583	22,768	22,734	22,432	21,885	22,133	21,668	19,407	17,680	19,855	
建設業・鉱業	280	271	179	151	142	135	152	127	129	133	155
農林水産業	274	268	265	224	225	250	230	209	209	261	236
業務その他部門	3,100	3,118	3,015	2,898	2,928	2,578	2,503	2,224	2,006	1,799	1,946

区域のエネルギー起源CO ₂ 排出量における特定事業所の温室効果ガス排出量のカバー率	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
部門											
産業・業務部門の合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
産業部門	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
製造業	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
建設業・鉱業	15%	15%	25%	29%	29%	31%	27%	32%	31%	29%	23%
農林水産業	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
業務その他部門	17%	17%	17%	19%	12%	16%	16%	17%	19%	19%	19%

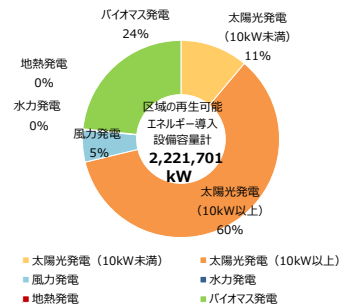
区域のCO₂排出量（産業・業務部門）は、「④CO₂排出量の現状把握」と同様の数値を用いています。特定事業所のカバー率：（カバー率）＝（特定事業所の温室効果ガス排出量）／（区域の産業・業務部門のエネルギー起源CO₂排出量）※特定事業所のカバー率は、推計精度の問題により、地方公共団体の区域全体の排出量を超える可能性があります。特定事業所排出量の比率が100%を超える場合は、カバー率を100%と表記しています。

3 全国の1事業所当たりの排出傾向との比較 ※排出量は全ての温室効果ガス種を含む合計値です。Nは特定事業所数を示します。

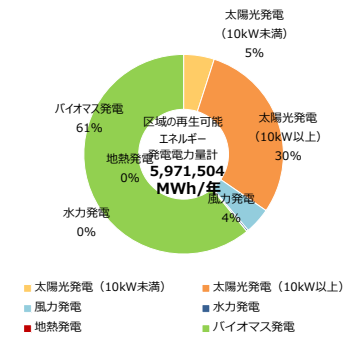


1 地方公共団体のFIT・FIP制度による再生可能エネルギー（電気）※1

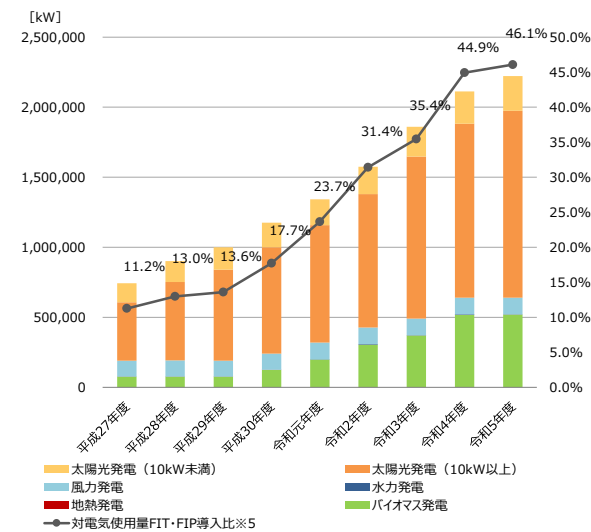
1) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量（令和5年度）



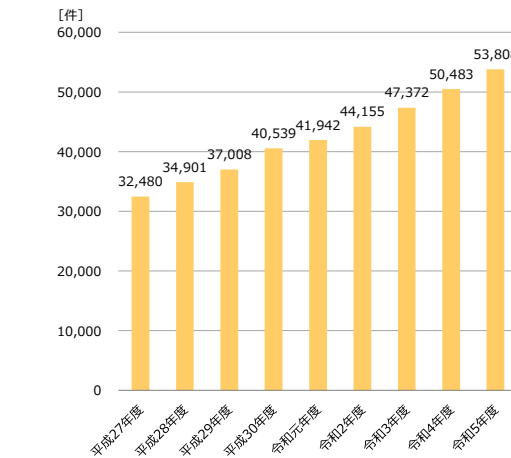
2) 区域の再生可能エネルギーによる発電電力量（令和5年度）



3) 区域の再生可能エネルギーの導入設備容量の推移（累積）



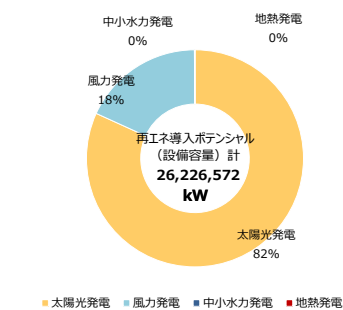
4) 区域の太陽光発電（10kW未満※6）設備の導入件数の推移（累積）



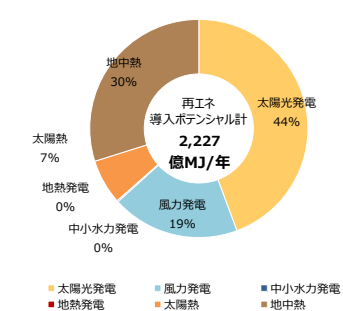
※6：区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数は比較的小規模な太陽光発電（住宅等に設置されるもの）を示すと考えられることから、住宅への太陽光発電の導入実績とみなすことができます。

2 地方公共団体の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル※7

5) 導入ポテンシャル（電気のみ・設備容量）



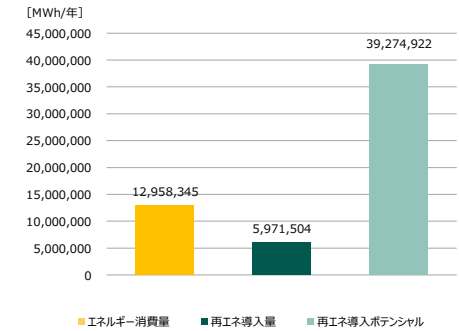
6) 導入ポテンシャル（発電電力量・利用可能熱量）



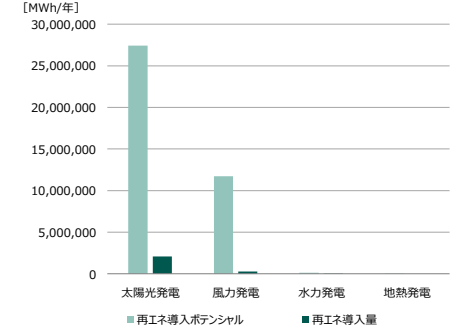
REPOS上に掲載されている再生可能エネルギーの導入ポテンシャルとは、設置可能面積、平均風速、河川流量等から理論的に算出することができエネルギー資源量（賦存量）のうち、法令、土地利用などによる制約（国立公園、土地の傾斜、居住からの距離等）があるものを除いたエネルギー資源量です。あくまで一定の仮定を置いた上での推計値であることから、実際に導入可能な設備容量や発電電力量とは一致しません。目安として御活用ください。

3 区域のエネルギー消費量及び再生可能エネルギー導入ポテンシャル・導入量の比較（電気）

7) 区域内のエネルギー消費量に対する再生エネルギー導入ポテンシャル（電気）



8) 区域内の再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量（電気）



区域のエネルギー消費量と再生エネルギー導入ポテンシャル（電気）		再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量（電気）			
対電気使用量FIT・FIP導入比（再生エネルギー自給率）	46.1%	再生エネルギー導入ポテンシャル [MWh/年]	再生エネルギー導入量 [MWh/年]	再生エネルギーポテンシャルに占める導入割合	
対電気使用量再生エネルギー導入ポテンシャル比 ※9	303.1%	太陽光発電	27,417,541	2,062,745	7.5%
再生エネルギー余剰量 [MWh/年] ※10	26,316,577	風力発電	11,735,153	254,472	2.2%
		水力発電	122,205	16,799	13.7%
		地熱発電	22	0	0.0%

※9：（再生エネルギー導入ポテンシャル） / （電気使用量）により算出します。

※10：電気使用量 > 再生エネルギー導入ポテンシャルの場合は「再生エネルギー不足量 [MWh/年]」、電気使用量 < 再生エネルギー導入ポテンシャルの場合は「再生エネルギー余剰量 [MWh/年]」を示します。

※7：最新の数値や算定方法、再生エネルギー導入ポテンシャルの定義は、REPOSのHPを御参照ください。
<https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/>

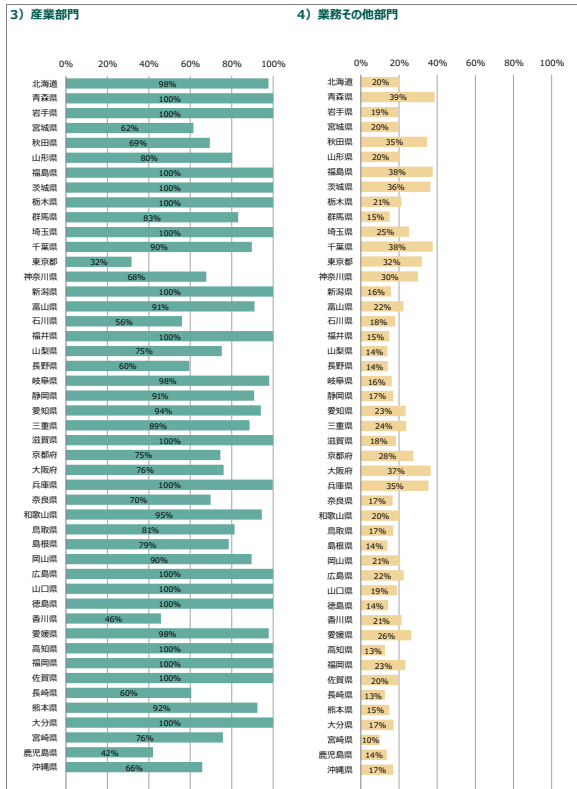
参考）再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量の集計対象の整理※8

	再生エネルギー導入ポテンシャル	再生エネルギー導入量
データ出所	REPOS（ポテンシャル情報）	再生エネルギー特措法 情報公表用ウェブサイト（全国・都道府県はA表、市町村はB表）
太陽光発電	太陽光発電（建物系・土地系）	太陽光発電（10kW未満・10kW以上）
風力発電	風力発電（陸上）	風力発電（20kW未満・20kW以上のうち洋上風力を除く）
水力発電	中小水力発電（河川・農業用水路）	水力発電
地熱発電	蒸気フラッシュ発電、バイナリー発電、低温バイナリー発電	地熱発電

※8：再生エネルギー導入ポテンシャルと再生エネルギー導入量のデータは、集計対象範囲や数値の算出方法が異なるため、あくまで目安として御活用ください。

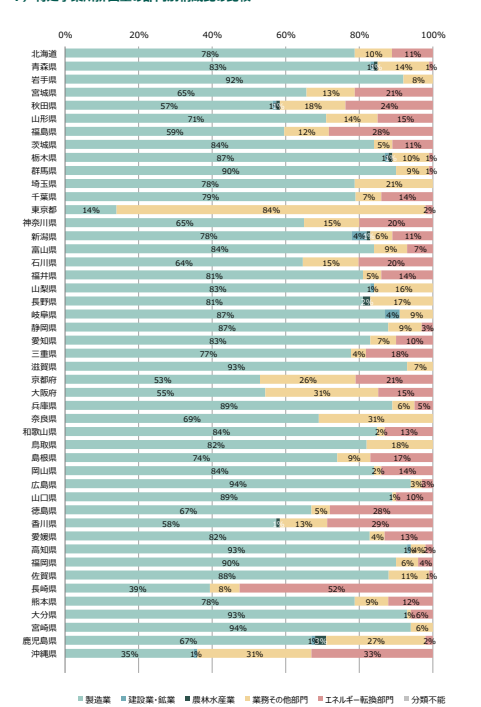
2 区域の排出量に占める特定事業所排出量比率の比較（令和3年度（2021年度））

2) 部門・分野別CO₂排出量構成比の比較



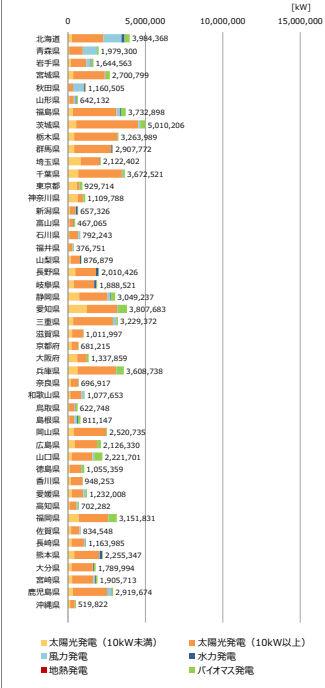
推計精度の関係で、区域の排出量に占める特定事業所排出量の比率が100%を超える場合は100%としています。
区域の排出量は、環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定・実施マニュアル」の標準的手法等に基づき、地方公共団体別部門・分野別推計した値です。

6) 特定事業所数の比較

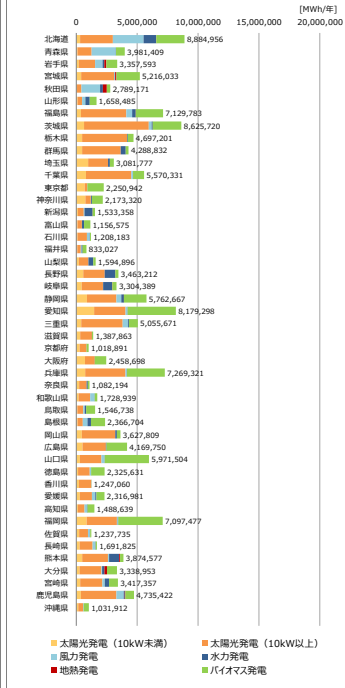


1 再エネ導入量の比較（令和5年度（2023年度））

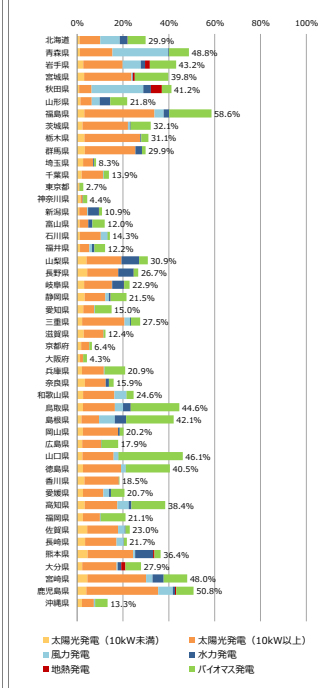
1) 他の地方公共団体との再エネ別導入設備容量の比較



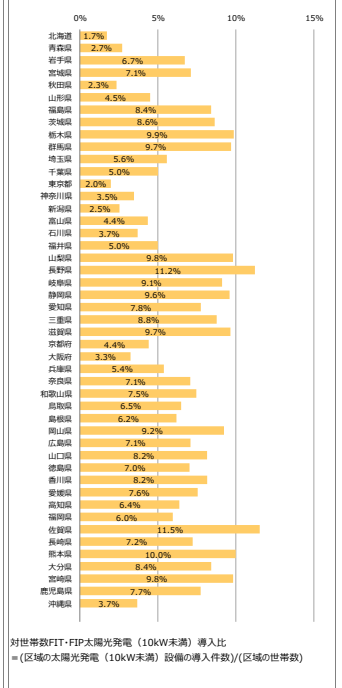
2) 他の地方公共団体との再エネ別発電電力量の比較



3) 他の地方公共団体との対電気使用量FIT・FIP導入比の比較



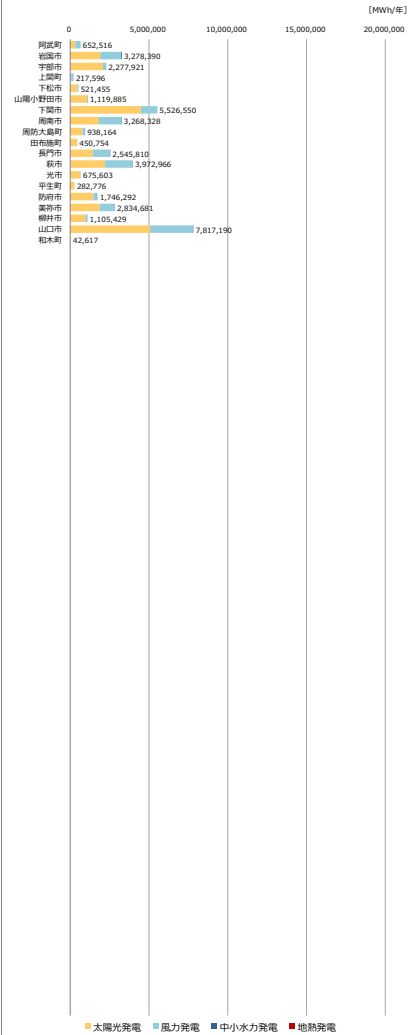
4) 対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比の比較



対世帯数FIT・FIP太陽光発電（10kW未満）導入比
= (区域の太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数) / (区域の世帯数)

2 再エネ導入ポテンシャルの比較

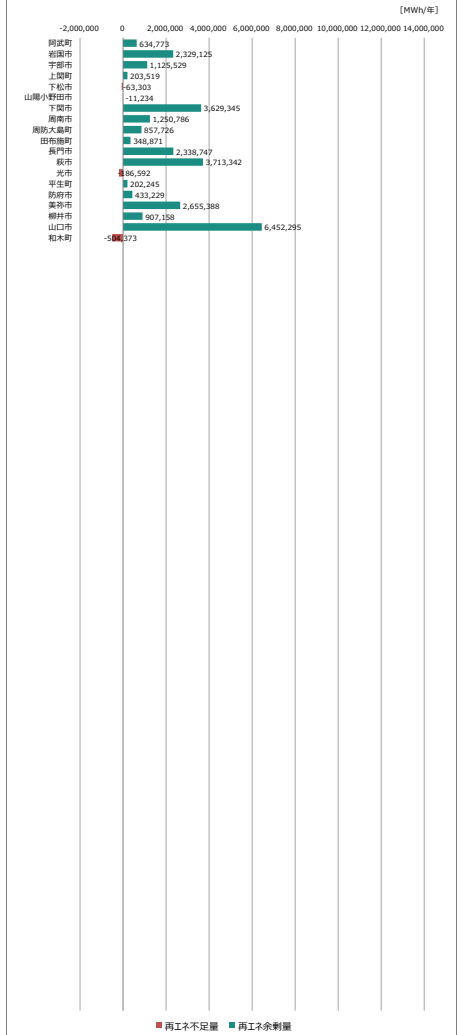
5) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネポテンシャル（発電電力量）の比較



6) 同一都道府県内における他の地方公共団体の電気使用量の比較



7) 同一都道府県内における他の地方公共団体の再エネ不足量・余剰量の比較



特定事業所集計表
山口県

日本標準産業分類(平成25年10月改定)(平成26年4月1日施行)

大
部

中
分
類

細
分
類

特定事業所数〔箇所〕

特定事業所排出量〔千t-CO₂〕

	平成23年度 (2021年度)	平成24年度 (2022年度)	平成25年度 (2023年度)	平成26年度 (2024年度)	平成27年度 (2025年度)	平成28年度 (2026年度)	平成29年度 (2027年度)	平成30年度 (2028年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	平成23年度 (2021年度)	平成24年度 (2022年度)	平成25年度 (2023年度)	平成26年度 (2024年度)	平成27年度 (2025年度)	平成28年度 (2026年度)	平成29年度 (2027年度)	平成30年度 (2028年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	平成23年度 (2021年度)	平成24年度 (2022年度)	平成25年度 (2023年度)	平成26年度 (2024年度)	平成27年度 (2025年度)	平成28年度 (2026年度)	平成29年度 (2027年度)	平成30年度 (2028年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)		
合 計	233	229	226	224	216	214	217	218	215	210	217	34,036	31,510	32,029	32,311	32,941	33,223	33,817	33,362	32,303	29,850	30,562													
A 農林水産業																																			
農林業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	41	40	44	43	42	42	41	41	40	38	36												
水産業	167	161	160	155	155	153	155	157	156	155	158	29,557	27,189	27,782	28,798	29,713	29,779	30,407	29,831	29,085	26,926	27,180													
農林水産業部門	49	52	50	54	46	46	47	46	43	40	43	518	520	522	553	563	621	408	387	383	335	371													
エネルギー転換部門	15	14	14	13	13	13	13	13	13	13	14	3,920	3,761	3,682	2,917	2,824	2,982	2,961	3,103	2,796	2,550	2,975													
分類不能																																			
B 鉱業、林業																																			
1 炭素																																			
2 採炭																																			
C 製造業																																			
3 金属(非金属製品を除く)																																			
4 非金属製品																																			
D 鉱業、採石業、砂利採取業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	41	40	44	43	42	42	41	41	40	38	36												
5 鉱業、採石業、砂利採取業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	41	40	44	43	42	42	41	41	40	38	36												
E 建設業																																			
6 総合工事業																																			
7 電気工事業(設備工事業を除く)																																			
8 建設工事業																																			
F 製造業	172	165	164	158	158	156	158	160	159	158	161	32,405	29,801	30,482	30,790	31,615	31,787	32,413	31,935	30,972	28,640	29,008													
9 鉄鋼製品製造業	12	10	8	9	10	11	11	10	10	11	80	80	73	64	72	65	64	69	62	62	71	68	69												
10 鉄鋼・鉄鋼製品製造業(製鉄を除く)	5	5	5	5	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3												
11 鉄鋼製品製造業	6	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	358	246	246	246	246	246	246	246	246	246	246	246												
12 木材・木製品製造業(家具を除く)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21	20	21	19	20	21	19	20	21	22	17	10	6	7										
13 木材・木製品製造業(家具を除く)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	647	468	477	447	447	442	472	426	452	418	394	383												
14 プラスチック・樹脂・ゴム製品製造業	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	647	468	477	447	447	442	472	426	452	418	394	383												
15 印刷・関連産業																																			
16 化学工業	54	55	55	52	53	53	50	51	52	49	52	17,941	16,405	17,074	17,585	18,690	18,723	19,409	18,814	19,188	17,763	17,222													
17 石油製品・石炭製品製造業	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	2,948	2,645	2,736	2,027	1,936	2,042	2,041	2,139	1,919	1,742	1,858													
1711 石油精製業	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2,948	2,645	2,736	2,027	1,936	2,042	2,041	2,139	1,919	1,742	1,858													
1731 プラスチック製造業																																			
18 プラスチック製品製造業(別項を除く)	9	10	10	9	10	9	10	12	12	12	12	88	90	99	95	101	102	106	110	104	90	91													
19 金属製品製造業	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	174	158	160	158	148	147	152	155	149	128	140													
20 金属・金属製品製造業(金属製品製造業を除く)																																			
21 金属・金属製品製造業(金属製品製造業を除く)	17	16	16	15	14	15	16	16	16	16	16	6,867	6,577	6,812	6,760	6,674	6,606	6,575	6,648	6,447	5,646	6,292													
22 金属製品製造業	11	12	11	12	12	12	12	12	11	11	12	12	2,072	2,043	1,564	2,248	2,164	2,266	2,302	2,224	1,514	1,739	1,858												
23 金属製品製造業	9	8	7	8	6	6	6	6	6	6	6	460	370	399	402	369	403	384	388	358	316	312													
24 金属製品製造業	9	8	7	8	6	6	6	6	6	6	6	81	70	82	75	78	74	72	72	56	57	59													
25 金属製品製造業	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	13	13	13	11	12	12	11	11																
26 金属製品製造業	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	59	47	53	55	48	55	61	62	53	47	58													
27 金属製品製造業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1													
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	5	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	223	151	135	29	9	3	82	81	69	44	59	58												
29 電気機械器具製造業	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	122	59	65	62	57	61	58	51	47	40	42													
30 電気機械器具製造業	17	16	18	18	18	15	19	19	19	21	21	264	294	342	332	326	280	331	342	318	256	257													
31 電気機械器具製造業																																			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	11	11	11	11	11	11	11	11	12	11	12	1,083	1,198	992	935	931	983	964	1,008	917	844	1,154													
32 電気業	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	1,064	1,140	973	917	913	965	946	991	900	828	1,137													
3211 発電所	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	1,064	1,140	973	917	913	965	946	991	900	828	1,137													
3212 変電所																																			
34 ガス業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	8	9	8	8	8	8	8	8	9	8	10												
3411 天然ガス工場	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	8	9	8	8	8	8	8	8	9	8	10												
35 熱供給業																																			
3511 熱供給業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11	10	11	10	10	9	9	9	9	8	8	7												
G 情報通信業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	9	8	9	9	8	8	7	6	2	2	2													
36 通信業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	9	8	9	9	8	8	7	6	2	2	2													
37 通信業																																			
38 情報サービス業																																			
40 インターネット接続サービス業																																			
41 映像・音声・文字情報制作業																																			

■部門と日本標準産業分類との対応は以下のとおりです。

・製造業：E製造業(エネルギー転換部門の細分類除く)

・建設業・鉱業：C鉱業、採石業、砂利採取業、D建設業

・農林水産業：A農業、B林業、C漁業

・エネルギー転換部門：F電気・ガス・熱供給・水道業の3311、石炭精製業 1331、コークス製造業 1399、F電気・ガス・熱供給・水道業の3311、発電

・中分類（17 33 34 35）はエネルギー転換部門を含んでいます。（エネルギー転換部門の細分類コード分は内訳表示のみ。）

・本分類（F：9～32の合計）（F：33～36の合計）はTネルギー転換部門を含んでいます。（Tネルギー転換部門の細分類コード分は内訳表示のみ。）

大分類（E：31～32の合計）（F：33～36の合計）はエネルギー転換部 に入っています。（エネルギー転換部）の細分類コードは付帯表示のため。